

審査状況をお届けします！

(審査日3月7日～14日)



委員長 鈴木多津枝

3月議会は、6日から17日まで22日間開かれ、初日に議案21件が可決（議会日より速報版参照）されました。予算特別委員会に付託された平成20年度予算審査を抜粋して報告します。委員会は7日に始まり、最終日の14日は①町道下村―野志本線②徳山沢協団地（19年度2棟4戸建設、20年度2棟4戸建設）③学校給食センター④B&G海洋センターを現地調査後、全予算を全員賛成で委員会可決しました。行政当局におかれましては、審査で出された意見を踏まえて今後の町政運営に当たられるよう切に要望致します。

一般会計予算

総務課・管理課

- ◎退職者14人、補充は看護師2名で173人に。
- ◎観光シーズンの崎平

―千頭間、奥大井―寸

税務課

適用で半額以下になる

にするよう国の指導があった。国補助は聞いていないとの答だった。

- ◎又峡間の交通整理委託料が262万円から336万円に増えたことに、渋滞解消に徳山―青部間の整備も県に強く要望すべきとの意見があった。
- ◎746万円で文化会館上の元桜保育園を解体し駐車場を整備する。
- ◎常備消防費1億8千285万円は予備車廃止で職員が減り、前年より約3千500万円減額したが、救急車出動後誰もいない事が多くなった。
- ◎家庭内家具固定委託料増額は、対象を高齢者から幼児や障がい者世帯へ広げたとの説明に、家屋耐震を進めるべきとの意見があった。
- ◎償還金元金の1億4千541万円増は、衛生消防組合解散で田代ごみ焼却施設の償還分5千800万円が移ったのと、利率の高い借入残800万円の繰上償還もあるとの説明があった。

- ◎所得税から住民税への税源移譲で、所得税から住宅ローン控除が出来なくなった人に住民税から控除するため住民税は2千200万円減の2億8千800万円に、徴税費でも過誤納還付金を1千万円増額したと説明があった。
- ◎地方税滞納整理機構負担金110万円は均等割10万円と、1件20万円の5件分。21人に移管予告したところ8人から約120万円納付、11人が納付約束との説明。
- ◎健康増進・保健福祉課が納付約束との説明。
- ◎社協補助金の減額は、人件費の減額で介護保険で見えるべきものを社協からの数字で精査したとの説明があった。

- ◎児童福祉施設費の5千万円減は、藤川保育園廃止による職員数の減と園児数の減による。聖母保育園の子育て支援センター廃止は、場所がないと断られたとの説明があった。
- ◎地名・瀬平保育園廃止で運行している通園バスの廃止に約束が違ふと紛糾したが、利用が少ないので一旦休止とし、再開もあることと決着した。
- ◎予防費で13才、18才のはしか予防接種を新設。高齢者インフルエンザ予防接種補助費749万円は本人負担千500円を超える分との説明。

- ◎町民課・住民課住基ネットワーク機
- ◎住基ネットワーク機器借上料200万円増額への質問に、5年リース終了で再リースを予定したが、全国的なネットワークなので新機種にするよう国の指導があった。国補助は聞いていないとの答だった。
- ◎一般廃棄物処理委託料5千953万円は、組合解散による島田市への委託料で、均等割2千984万円、ごみ量割3千68万円から搬入割引100万円を引いた額。



田代環境プラザ